

出題意図

【2026 年度入試 世界史 A 日程 1 日目】

【1】

16～17世紀のヨーロッパにおける主権国家成立の経緯を、宗教改革・宗教戦争を中心とした具体的な出来事をもとにとらえ、理解しているか、歴史上の人物の固有名詞、条約の理解の確認も含めて問いました。

【2】

現代に通じる哲学や心理学の成り立ちについて、概念と思想家を関連させて理解しているかを問いました。

【3】

1920-1930年代のアメリカの経済政策や出来事について、アメリカ国内だけでなく関連する諸外国についても包括して理解できているかを問うために出題しました。

【4】

文明の成立ののち、それ以降の世界の諸地域における文化の発展についての出題でした。世界の多様な文化の発展を広く理解しているか、特に各地の宗教と結びついた文化の発展を理解しているかを問いました。

出題意図

【2026 年度入試 世界史 A 日程 2 日目】

【1】

隋唐等の時代の中国に関する基本的な知識の理解度を問う問題を設定しました。その中で、税と労役、土地制度について、人々の生活への影響、統治への影響についてその変遷を理解しているかを重点的に問いました。

【2】

モンゴル帝国の時代から本格化した陸と海の交流について、前半の設問では、モンゴル帝国の形成と領土拡張の過程の理解を問い、後半の設問では、ヨーロッパ諸国の海路を中心としたアジア、アメリカ、アフリカへの侵攻の状況の理解を問いました。

【3】

1960 年代のアメリカ、ソ連、東ヨーロッパの政治や出来事について問い、現在の世界情勢に通じる一連の世界的な流れを理解しているかを確認するために出題しました。

【4】

文明の成立と古代文明の特質についての出題でした。文明の栄えた世界の地域と文明の名称のつながり、また、農耕との結びつき、宗教との結びつきなど、それら文明の特質を理解しているかを問いました。